

ふわふわ言葉とちくちく言葉

あと二週間もすれば、みなさんが楽しみにしている夏休みがやってきます。さて、ここで、校長先生が気になるみなさんの言葉づかいについて、少しふり返ってみましょう。

みなさんは、“ふわふわ言葉”と“ちくちく言葉”を知っていますか。人に言われると、うれしくなったり、元気が出たりする言葉を“ふわふわ言葉”と言います。一方、人に言われると、悲しくなったり、いらいらしたりする言葉を“ちくちく言葉”と言います。



“ふわふわ言葉”には、一体どのような言葉があるでしょうか。校長先生が考えるに、次のような言葉ではないでしょうか。

- ・おはよう ・こんにちは ・さようなら ・ありがとう
- ・ごめんなさい ・だいじょうぶ ・どうしたの
- ・いっしょに遊ぼう ・すごいね

一方、“ちくちく言葉”には、次のような言葉があると思います。

- ・うざい ・くさい ・きもい ・最低 ・最悪
- ・向こうへ行って ・近寄らんで ・そんなことも知らんの

「明倫小 B」には、「友だちに親切にする。やさしくする。いじめを絶対しない」という取組があります。

みなさんは“ふわふわ言葉”をたくさん使っていると思いますが、何気ない言葉が相手を傷つけることがあります。しかし、同じ言葉でも相手を思いやるやさしい言い方もあります。

大切なことは、自分が言われていやな言葉は使わず、もし自分が言われたらどう思うかを考えて言葉を選んでいくことだと思います。

校長先生は、“ふわふわ言葉”が多く使われ、明倫小学校がもっともっと「ぬくもりのあるやさしい学校」になったらいいなと思います。